

【施設状況】

グループ名称	長沼公民館							
指定管理者名	長沼地区住民自治協議会				法人番号	2700150020808		
所管課	主	603200	家庭・地域学びの課	副				
構成施設	3389	長沼公民館						
施設分類	01	企画型	施設利用者圏域	01	地域施設	利用制適用区分	03	一部利用料金制
施設概要	会議室（和室大・1室）、会議室（和室小・1室）、会議室（大・1室）、会議室（小・1室）、会議室（ホール・1室）、調理室（1室）							
施設設置目的	公民館は、市町村その他一定区域内の住民のために、実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、もつて住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的とする。							
基本方針等	利用者の安全を十分に確保することを最優先の上、施設の全てを清潔に保ち、かつその機能を正常に保持するとともに、次年度以降の運営を視野に入れて、適正な維持管理と必要に応じた保守点検を行う。設置目的の理念に基づいた運営を行う。公の施設であるということを念頭において、公平、公正な運営を行う。							
主な実施事業	定期講座を開催すること。討論会、講習会、講演会、実習会、展示会等を開催すること。図書、記録、模型、資料等を備え、その利用を図ること。体育、レクリエーション等に関する集会を開催すること。各種の団体、機関等の連絡を図ること。その施設を住民の集会その他の公共的利用に供すること。貸館に関すること。							

【項目評価基準表】

評価	評価基準
5 (優れている)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上で、指定管理者のノウハウや努力等によるところが特に大きい
4 (良い)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上
3 (普通)	・協定、事業計画が予定どおり実施された
2 (劣る)	・協定、事業計画の一部が予定どおり実施されない ・管理運営の一部において、市の指導が必要
1 (悪い)	・協定、事業計画が全て実施されない ・管理運営の全てにおいて、市の指導が必要 ・市の指導を受けてもなお、全く改善が図られない

【評価項目】

1 指定管理者の健全性

指定管理者名	長沼地区住民自治協議会	指定回数	2 回	
指定期間	平成29年4月1日 ~ 平成31年3月31日	2年	管理運営開始日 平成26年4月1日	
指定管理者の健全性	施設の設置目的や市が示した基本方針、また、自ら提案した内容に沿った管理運営であったか。また、団体の財務状況や組織体制は、管理運営実績のある他施設での管理運営状況も踏まえ、良好で、健全か。			評価
	特記事項 (問題等があった場合に、その内容等を記入)			3

2 施設の有効活用

No. 87

施設利用状況 (利用者数、件数、稼働率など)	利用区分等	単位	H27	H28	H29	H30	対前年比	評価
	長沼公民館 利用者数	人	11,927	11,697	11,310	9,370	83%	4
	長沼公民館 利用率	%	13.1	12.0	12.1	12.0	99%	
							#DIV/0!	
							#DIV/0!	
							#DIV/0!	
							#DIV/0!	
						#DIV/0!		
(特記事項) 講座参加者の減、会員減少による利用団体の消滅や利用団体の会員減少、外部から研修に来る団体の減少								
事業実施内容	区分	協定内容・指定管理者提案		追加事業、未実施事業及び未実施の理由				
	市指定事業	<ul style="list-style-type: none"> ・長沼公民館の利用の許可に関する業務 ・社会教育法第22条に規定する事業の実施に関する業務 ・長沼公民館の施設及び設備の維持管理に関する業務 ・公民館の利用の許可、不許可及び取り消しに関する業務 ・施設、付帯設備及び物品の維持管理に関する業務 						
	自主事業	<ul style="list-style-type: none"> ・地元学事業（新・ワンサロンin長沼等） ・学社連携事業（俳句投句募集・きり絵教室・子ども歴史ロマン講座・読み聞かせ・和太鼓クラブ等） ・自主企画提案制度（太鼓ビクス・創作きり絵・実用書道・シニア健康体操等） ・出前講座事業（和太鼓・けん玉教室・人権教育・文化教養等） ・まちづくり事業（ろばた懇談会等） 						
サービス維持・向上の取組み（広報等）	館報ながめま、瓦版ながめま（ミニ広報紙）の全戸配布、熱人ワークながめま（ミニ情報紙）のホームページ掲載、熱人ワーク応援団（人材バンク）・ろばた懇談会（私的諮問機関）の設置による地域ニーズの把握・反映等、また、メディア露出として（パブリシティ）、長沼公民館の活動が、新聞52回、テレビ・ラジオ14回、機関誌1回の計67回掲載・放送され、公民館のPR、利用者増につながっている。							

3 利用者評価

利用者評価	区分	内容		評価
	利用者要望把握	(1) 利用者要望把握方法	利用者アンケート	
利用者からの評価・苦情等	(2) 調査、会議等の内容	利用者アンケートを受講者に配布し回収した。164人のうち144人から回答を得た。回収率は88%。 利用者アンケートのアンケート用紙は、講座の内容により変更し、回答しやすいよう工夫している。		
	(3) 調査、会議等の結果	調査項目： ①一茶9碑(句碑)俳句ing 良い96% 未回答4% ②新・ワンサロン(一茶論)in長沼～5回シリーズ～ 良い71%、まあ良い18% 未回答11% ③夏休み子どもクッキング、オータム子どもクラフト、春休み子どもアート 良い100% ④クリスマス子どもクッキング 良い83%、まあ良い17% ⑤野菜重ね煮楽習会、スイーツ楽習会、やしょうま楽習会 良い100%		
	(1) 良好とする評価	<一茶9碑(句碑)俳句ing>・具体的な説明で分かりやすく、充実した楽しい句碑めぐりができた。・一茶に関する催しがあれば、是非また参加したい。 <新・ワンサロン(一茶論)in長沼～5回シリーズ～>・本来、お会いできないような先生方の講演が聞いて良かった。どの先生も奥深く、色々な角度から一茶について勉強できて大変良かった。素晴らしい人選だった。<夏休み子どもクッキング クリスマス子どもクッキング>・はじめて作ったからむずかしかったけど楽しかった。細かいいところもわしく教えてくれたおかげで、上手においしく作れてよかった。 <オータム子どもクラフト 春休み子どもアート>・工夫して自分だけのクラフトを作れてよかった。分からなかった時には教えてもらえてよかった。・また作りに来たい。<やしょうま楽習会>・レシピを見ただけではよく分からないことも、自分で実際にやってみると理解でき、素敵な梅の花に出来上がってよかった。とても有意義な時間を過ごすことができた。		
(2) 苦情・改善等の要望事項				
<<対応措置>>				

事業収支 (単位：円)	指定管理者収支（平成30年度）				市の収支				評価
	年度計画額		収支実績額		平成30年度決算		平成29年度決算（前年度）		
	項目	金額	項目	金額	項目	金額	項目	金額	
収入	利用料金		利用料金		使用料	19,390	使用料	16,120	3
	指定管理料	11,862,000	指定管理料	11,862,000	雑（納付金）	764,756	雑（納付金）	707,179	
	委託料		委託料		行政財産 目的外使用料	48,000	行政財産 目的外使用料		
	販売収入等		販売収入等		貸付料		貸付料		
	その他収入	164,220	その他収入	187,000	その他		その他		
	計	12,026,220	計	12,049,000	計	832,146	計	723,299	
支出	人件費	7,599,500	人件費	7,216,091	指定管理料	11,862,000	指定管理料	11,862,000	
	設備管理費	420,000	設備管理費	296,160	委託料		委託料		
	備品購入費		備品購入費		需用費	851,659	需用費	675,409	
	修繕費	0	修繕費	1,027,233	役務費		役務費		
	光熱水費	1,070,000	光熱水費	956,670	使用料・賃借料	29,701	使用料・賃借料	29,050	
	事業費	757,000	事業費	631,624	修繕費		修繕費		
	事務経費	1,457,880	事務経費	1,375,082	工事請負費	699,840	工事請負費		
	本社経費 その他	721,840	本社経費 その他	446,400	備品購入費 その他		備品購入費 その他		
	計	12,026,220	計	11,949,260	計	13,443,200	計	12,566,459	
自主事業	収入	212,090	収入	174,090					
	支出	212,090	支出	174,090					
	自主事業損益	0	自主事業損益	0					
損益		0		99,740	差引	-12,611,054		-11,843,160	
人件費比率【人件費（賃金等）／平成30年度指定管理者事業支出】（支出に占める人件費の割合）								60.4%	
本社経費が、計画額と実績額で異なる理由									

5 管理運営全般 ※すべて で、「3」。「4」「5」とする場合は、評価理由欄に理由を記載してください。

区分	確認内容	チェック欄	評価
職員配置	1 施設管理運営に必要な人員が、適正で有効に配置されているか 配置実績 (うち市内雇用職員数) 館長1人(1人) 社会教育主事資格 主事2人(2人) 内、1人保育士資格	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	2 専門性を備えた職員、有資格者が必要に応じて配置されているか		
	3 労働関係法令を遵守し、職員の適正な労働条件を確保しているか		
	4 職員の資質・能力向上を図り、施設を適切に運営するための取組みや研修がなされたか		
平等利用	1 特定の団体や個人に偏らない、公平・公正な、透明性の高い運営がなされたか	<input checked="" type="checkbox"/>	
	2 使用許可、減免等の事務手続きが適切に行われたか		
経理	1 施設の管理運営に係る収支の内容や、指定管理料、利用料金等の取扱いは適切に行われたか	<input checked="" type="checkbox"/>	
	2 収支内容等を記載した帳簿を整備しているか		
施設・備品の維持管理	1 必要とされている保守、点検、清掃、保安、警備等、必要な維持管理業務が確実に実行されたか	<input checked="" type="checkbox"/>	
	2 備品はⅠ種、Ⅱ種を明確にし、それぞれ台帳、目録等を整備の上、管理が適正に行われたか		
セルフモニタリング等	1 日常的、定期的に業務の点検、監視が行われたか	<input checked="" type="checkbox"/>	
	2 事業計画・報告書、予算書・決算書や、施設の利用状況などの定期報告、点検・検査結果報告などが遅滞なく提出されたか		

区分	確認内容	チェック欄	評価	
危機管理体制	1 危機管理マニュアルなどが整備されているか	<input checked="" type="checkbox"/>	3	
	2 危機管理マニュアルなどの内容が職員に周知されているか			
	3 常に、日常の事故防止などに注意を払っているか			
	個人情報保護 1 施設の利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか	<input checked="" type="checkbox"/>		
	防犯、防災対策	1 防犯、防火などの対策、体制が適切であったか		<input checked="" type="checkbox"/>
		2 防災訓練など、必要な訓練が実施されたか		
緊急時対応、体制	1 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか	<input checked="" type="checkbox"/>		
	2 必要な保険に加入するなど、利用者などからの損害賠償請求への対応措置が講じられているか			

7 地域連携

地域連携	評価
地域の声を聞く体制や、協働で地域貢献ができる運営であったか。市内雇用や市内事業者から物品を購入する等、地域を活用した管理運営であったか。障害者就労施設等からの物品及び役務の調達に努めたか。	4
協定内容・指定管理者提案 ・地域の課題を掘り起こし、地域に根差した講座・事業（ワンサロンin長沼等）を多彩に継続実施した。 ・小学校と連携し、信州型コミュニティスクール「りんごっこ支援の会」を積極的にサポートし、学習支援の充実強化を図った。 ・障がい者の生活を支援するため、地元の障がい者就労施設の物品販売の場所を恒常的に提供した。	

【総合評価】

評価項目	評価	得点	総合評価	
指定管理者の健全性	3	6	70	
施設の有効活用	4	16		
利用者評価	4	16		
事業収支	3	6		
管理運営全般	3	12		
危機管理体制	3	6		
地域連携	4	8		
合計得点				

評価理由

昨年に引き続き多彩な自主事業の展開を図り、より多くの学びの機会を提供したことから施設の有効活用は「4」とした。多くの事業を行う中で、アンケートは良好とする意見が多く、講座参加者からも高い評価を受け、苦情もないことから利用者評価は「4」とした。
地域や地元企業との連携を図り、コスト削減等に努めるとともに、協働事業を積極的に取り入れたことから地域連携は「4」とした。

取組み・改善案等 (施設所管課)	前年度からの課題	改善状況	改善案等 (改善されていない場合)
次年度の目標・取組み等 (施設所管課)	次年度においても引き続き質の高い施設活用、利用者サービス及び地域と連携した事業の実施に努めてほしい。		

指定管理者自己評価

(1) 今年度の取組みに対する評価

① サービス向上に向けての取組み

- ◆ 広報活動… 公民館報（年3回）及び瓦版「ながめま（ミニ広報紙）」を全戸配布し、周知徹底図り、住民の参加を呼び掛けた。また、ホームページや「熱人ワークながめま（ミニ情報紙）」等を活用し、地区内外へも周知した。
- ◆ 広聴活動… 公民館利用者、「ながめま熱人ワーク応縁団（公民館支援ボランティア）」、「ろばた懇談会」より、公民館管理運営について意見やアイデア・提言等を適宜出してもらい、迅速に公民館事業、管理運営に反映した。また、クレーム等については、「すみやか業務改善運動処理簿」により、迅速に対応している。
- ◆ 情報発信活動… メディア露出（パブリシティ）を積極的に活用して、全国的に情報宣伝活動を行った。（平成30年度年間で新聞・雑誌・テレビ等67回掲載・放送された）
- ◆ 人材活用… 「自主企画提案制度」の導入、「出前講座」の実施によって地域の豊富な人材を活かすことで、社会教育、生涯学習活動の基盤が厚くなり、活動の場が広がり、「公民館力」「地域力」が向上した。
- ◆ コスト削減と還元… コスト削減にはさらなる取り組みを行い、節約した予算は利用者の利便性を考え、備品購入・更新や施設の改修（LED化）に当てたほか、郷土歴史文化資料などを作成、提供し、利用者に還元した。

② 業務の効率化に対する取組み

- ◆ 地元企業等との連携を一層密にし、公民館との協働事業を積極的に取り入れ、コスト削減や利用者の増加を図った。また、地元企業が経営する国道沿いのレストランの一角に、掲示板を設けてもらい、長沼の歴史・一茶コーナーを開設し、一茶句碑めぐりマップ、長沼オリジナル戦国武将折り紙兜などを無料配布した。講座募集のポスター掲出など、PRに努めた。
- ◆ 公民館を支援するボランティア制度「ながめま熱人ワーク応縁団」員を公民館事業運営に積極的に活用することによって、コスト削減や事業の効率化に結びついた。

③ その他

- ◆ マスメディアにより、長沼公民館活動が県内外に紹介され、事業参加者・見学者が大勢長沼地区を訪れ、公民館リーダーたちと情報交換・交流を行った。
- ◆ 他の文化教育施設（八十二文化財団）の企画展事業に協力し、情報・資料を提供し、長沼のPRに努めた。
- ◆ 住民自治協議会と連携し、地域歴史文化の掘り起こしとして、長沼地区民俗文化財報告書第2集「長沼の伝統行事」を刊行し、全戸配布し、記念講演会も開催した。県内外からも購入希望が数多く寄せられている。

(2) 指定管理者業務実施上の課題

- ◆ 長沼地区は平坦地でありながら、地区全体が市街化調整区域のため、中山間地と同様に過疎化、少子高齢化が著しく、地元利用者が限られ貸館としての稼働率は横ばいとなっている。反面、魅力ある自主事業を企画・実施することで事業参加者は増加している。今後、講座事業を益々充実させ、参加者を増やすため、マスメディアやホームページ等を活用していく。また、貸館利用者を増やすため、さらにPRしていく。
- ◆ 交流センター移行に伴い、照明器具LED化を整備していただいたが、あと、3分の1ほど未整備なので、利用者のサービス向上のため引き続き、市と協議をし、整備していく。

(3) 総合評価

評価基準（計画＝事業計画）

- 【A】計画や目標を大きく上回る 【B】計画や目標を上回る 【C】計画や目標どおり
 【D】計画や目標を下回る 【E】計画や目標を大きく下回る

指定管理者
自己総合評価

C

① 評価理由

- ◆ 指定管理者の健全性、施設の有効活用、利用者評価、事業収支、管理運営全般、危機管理体制、地域連携については、計画通りに運営したので、自己総合評価は「C」とした。

② 次年度以降の取組み

- ◆ 平成31年度には、公民館から「交流センター」へ移行するので、交流センター活動のPRと利用促進を図るため、交流センターオリジナルのホームページ作成に向けて準備を進め、開設する。
- ◆ 幻の長沼城の存在については復元図が作成され徐々に明らかになってきているが、さらにその存在を確かめるために、城の遺構の一部の発掘調査を関係団体・機関と協議し、複合的な地域振興策を引き続き検討していく。
- ◆ 住民自治協議会が「ホームタウン・ながめま（長沼地区地域づくり計画）」策定したので、その方針計画に基づいて事業を推進していく。
- ◆ 学交（学校・交流センター）連携事業を強化し、長沼小学校「りんごっこ支援の会」の会員の増強と支援を図り、さらに学校支援の輪を拡大していく。
- ◆ 住民自治協議会と連携し、長沼地区民俗文化財調査報告書第3集「長沼の石造文化財」の刊行を検討していく。